



村井 嘉浩 × 井上 真央
宮城県知事 俳優

気仙沼市がメインロケ地となった、移住エンターテインメント映画『サンセット・サンライズ』（1月17日(金)公開)に出演されている井上真央さんをゲストにお招きし、撮影時のエピソードや宮城の魅力について語っていただきました。

映画『サンセット・サンライズ』への思い

●知事 映画、素晴らしい作品でした。ユーモアの中にも温かさがあり、心に響くものがたくさんありました。井上さんは、菅田将暉さん演じる主人公・西尾晋作の移住先の大家であり、町のマドンナの存在の関野百香役を演じられましたが、演じてみていかがでしたか。

●井上さん 映画の中で、百香の過去については詳しく描かれていないのですが、物語の随所に、きつとらしい思いをしてきたんだろうと感じられる場面があります。そうした背景を想像しながら彼女の抱えているものを掘り下げていくのは、とても難しかったですね。

映画では、震災や「コロナ禍、空き家問題などさまざまなテーマが取り上げられていて、誰もが自分ごととして感じられる映画になっていると思います。時代が変化していく中で、過去も大切にしながら、新しい形を受け

入れて前を向いていくという共通したメッセージがあると感じています。

宮城の魅力

●知事 過疎化や空き家問題は地方が抱える大きな課題で、宮城県でも移住・定住に力を入れて取り組んでいます。井上さんご自身は、地方での暮らしや移住について関心をお持ちですか？

●井上さん 個人的にとても興味があります。私が生まれ育った場所も自然が豊かで海に近く、家や学校の窓から海が見えたので、そういう景色にはとても安心感があります。宮城の海もそれに似ていて、より静かで穏やかな印象でしたね。

スタッフの中にも、釣りが好きでロケ地を気に入って、移住を本気で悩んでいた方もいました。

●知事 それはうれしいですね。ロケ地で井上さんが特に魅力に感じた点がありますか？

●井上さん 小高い場所からの眺めがとてもすてきでした。さまざま



ロケ地を訪れて、早朝から日が沈むぎりぎりまで撮影していましたが、日の出前に起きて、まだ暗い中で移動していても、海に向かってゆっくり朝日が昇るのを見ると穏やかな気持ちになりました。サンセットもとても美しく、『サンセット・サンライズ』というタイトル通り、どちらの景色も印象的でした。

●知事 早朝の撮影は大変だったのではないですか？

宮城の食文化と方言

●井上さん 早起きは苦手なんです。でも、気仙沼で朝6時に流れるチャイム「恋はみずいる」の切ないメロディがすごく好きで、ロケ先に向かう途中でその音を聞くと、なんだか心地よくて、「今日も頑張ろう」と思えました。

●知事 映画では、地元ならではの料理がたくさん登場しますよね。井上さんも、アジのなめろうをすごい速さで作るシーンがありましたか、あの撮影はいかがでしたか？

●井上さん アジの皮をおくのにてこずったりして、緊張しましたね。なめろうを作りながらも、意識は晋作とのやり取りに向いているというシーンなので、手が勝手に動くようになるまで何度も練習しました。

●知事 とても手際が良かったですよ。普段から料理はされるんですか？

●井上さん 料理はよくします。アジも好きでフライやたたきは作りますが、なめろうは初めてで。



●知事 ホヤ、おいしかったですよ。ホヤにはプラスとマイナスの二つの突起があるのはご存じですか？

菅田さんも魚をさばくシーンがあったので、宮城に行く前から一緒に練習を始めて、現地でも休みの日に菅田さんが釣ってきた魚をさばいたりしていました。それも楽しかったですし、その後みんなで味見して、「おいしいー！」と言いながら食べるのもすごく楽しかったですね。あとはホヤも食べました。

●井上さん はい、ホヤばーやにもプ

ラスとマイナスがありますよね。そ
ういうことも地元の方に教わりなが
ら、その場でむいてもらったホヤを
食べたなら、臭みがなくてとてもおい
しかったです。撮影中も食事が本当
においしくて、菅田さんはフキも増
えたらいいですね。

●知事 フキもですか！それだけ宮
城の食文化を満喫していただいたと
いうことですよね。

●宮城の方言はいかがでしたか？
私も大阪府出身なので、宮城弁はネ
イティブではないんですが、井上さ

んはとてもお上手でしたね。

●井上さん ありがとうございます。
方言指導の方から「この辺りは車で
30分移動すると方言が変わる」と聞
いて驚きました。今回の映画は「宇
田濱」という架空の町が舞台だったの
で、特定の地域の方言ではなく、三
陸の温かい雰囲気を感じるような話
し方を工夫しました。

●知事 撮影中、地元の方々との交流
もあったのでは？

●井上さん はい、休みの日には地元
の方の船に乗せていただいて、釣り
を楽しむ機会もありました。



エキストラとしても多く

の方に参加してもらい、役
場のシーンでは実際の職員
の方に協力いただきましたまし
た。撮影の合間には方言
を教えていただいたりもし
て、「こっぴつ方言がある
よ」と聞いて、その場で「三宅
健さん（高森武役）が練習し
て、実際にシーンで使った
りもしましたね。

宮城で次にやりたいこと

●知事 もし次に宮城に滞在する機会
があれば、やってみたいことはあり
ますか？

●井上さん 撮影していた時期が、
ちょうどこれからカキのシーズンと
いう時だったので、宮城のカキをもっ
と堪能したいですね。菅田さんと釣
りの練習に行った際、たまたま近く
でカキの収穫作業をしていて見学さ
せていただいたのですが、初めて見
たので楽しかったです。あとは、撮
影の時に行けなかったお寿司屋さん
などもあるので、行きたいです。

●知事 フカヒレ寿司は食べました
か？気仙沼市はサメの水揚げ量が
日本一なんですよ。

●井上さん フカヒレ寿司は食べてい
ませんが、フカヒレラーメンは食べ
ました。休みの日に大谷海岸に行っ
てみようと思ひ、知らない道を歩く
のが好きなので、散歩も兼ねて宿泊
先からBRTの駅まで40分ほどか
けて歩いて行きました。BRTが来



『サンセット・サンライズ』 場面写真

るまで1時間ほどあったので、駅で
本を読みながら待つ。その後、
大谷海岸でフカヒレラーメンを食べ
ました。とてもおいしかったです。

●知事 あの辺りも震災の津波で大き
な被害を受けましたが、今はとても
きれいになったんですよ。

●井上さん 宿泊先で自転車を借り
て、夜、走ったのですが、道がきれ
いに舗装されていたので、ここまで
津波が来たんだなと思ひながら、景
色を眺めていました。

今年の抱負

●知事 井上さんの今年の抱負をお願
いします。

●井上さん まずは1月にこの映画が
公開になるので、多くの方に観てい
ただきたいなと思います。そして、
個人的な抱負としては、やはり健康
第一で過ごしたいですね。

●知事 ありがとうございます。
私は、映画でも取り上げられてい
るように、人口減少への対策を一層強
化していきたいと思っています。それ
に加えて、DX（デジタル・トランスフォー

メーション）の推進や、半導体をはじ
めとする成長産業の誘致・育成にも
力を入れて取り組み、地域経済の活
性化を図っていききたいと思っています。

県民の皆さんへの メッセージ

●知事 最後に、県民の皆さんへメッ
セージをお願いします。

●井上さん 今回、気仙沼をはじめ宮
城の皆さんにたくさん協力いただ



新型コロナウイルスのパンデミックで世界中がロック
ダウンに追い込まれた2020年。リモートワークを
機に東京の大企業に勤める釣り好きの晋作（菅田将
暉）は、4LDK・家賃6万円の神物件に一目惚れ。
何より海が近くて大好きな釣りが楽しめる三陸の町
で気楽な“お試し移住”をスタート。仕事の合間には
海へ通って釣り三昧の日々を過ごす。東京から
来た〈よそ者〉の晋作に、町の人たちは気が気でない。
一癖も二癖もある地元民の距離感ゼロの交流にと
まどいながらも、持ち前のポジティブな性格と行
動力でいつしか溶け込んでいく晋作だったが、その
先にはまさかの人生が待っていたー？！

『サンセット・サンライズ』
監督：岸善幸
脚本：宮藤官九郎
出演：菅田将暉、井上真央、中村雅俊、三宅健、
池脇千鶴、竹原ピストル、小日向文世ほか
配給：ワーナー・ブラザーズ映画
© 楡周平 / 講談社 © 2024 『サンセット・サンライズ』製作委員会

井上 真央

1987年神奈川県出身。『八日目の蝉』
（11年）、『謝罪の王様』（13年）、『白ゆき
姫殺人事件』（14年）、『カッパン』（19年）、
『二度も撃つません』（20年）、『大コメ騒
動』（21年）、『わたしのお母さん』（22年）な
ど多数の作品に出演。

村井 嘉浩

大阪府豊中市出身。防衛大学校を卒
業後、陸上自衛隊東北方面航空隊に
ヘリコプターパイロットとして配属
される。1992年松下政経塾入塾、
1995年から宮城県議会議員を務
め、2005年11月から宮城県知事に
就任。現在5期目。